

長浜バイオ大学公開講座

京都高齢者大学開校記念・長浜バイオ大学10周年記念事業

葬式と結婚式を 誰が変えたのか



この十数年間に、葬式と結婚式が様変わりしたのです。激変という事態が進行しています。

それは何百年も続いたこの国の風俗、習慣を変え、
さらに関連する文化そのものを死滅させる重大な意味を持っています。

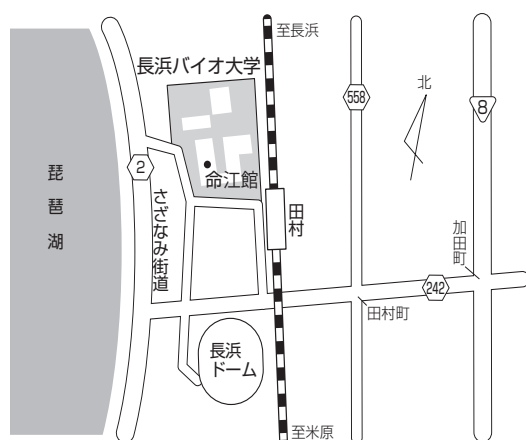
いったい誰が変化の主体なのか、文化の視座に立ったとき
鮮明に見えてくる風景があります。なぜ彼たちは変えるのか、
意識されざる最終目標は何なのか、遠望する近未来に見えてくるものは……。

日時 **3月29日(金)**

13:30～15:00

会場 **長浜バイオ大学**

命江館 2F 大講義室①



参加無料・事前申込不要

高齢者に限らず
どなたでも受講できます



講師 **木津川 計**

きづがわ けい
雑誌『上方芸能』発行人
元立命館大学教授

1935年生まれ。大阪市立大学文学部卒業。88年に自ら創刊し、編集長を務めた雑誌『上方芸能』は、能・狂言・歌舞伎・文楽・舞踊から落語・漫才に至るまで、京阪神の芸能や大阪文化を幅広く紹介、応援し、論評する専門誌として44年の歴史を持つ。1986年立命館大学教授就任、2006年定年退職。1981年からNHKラジオ（関西エリア）で「ラジオエッセイ」を毎週1回レギュラーで担当中。また、2007年から「木津川計の一人語り劇場」を旗揚げ、これまでに新国劇の名作「臉の母」「王将」を。また、新派の「婦系図」、映画「無法松の一生」、菊池寛の「父帰る」、2012年から『語る落語』を口演している。著書に『人間と文化』（岩波書店）、『（趣味）の社会学』（日本経済新聞社）、『上方の笑い』（講談社現代新書）、『上方芸能と文化』（NHKライブラリー）、『人生としての川柳』（角川学芸ブックス）、『朗読・語り文化の地平』（『上方芸能』出版センター）ほか多数。京都市芸術功労賞、京都新聞文化賞、第46回菊池寛賞（98年12月）ほかを受賞。

京都高齢者大学とは

長浜バイオ大学の京都キャンパスに本年4月開校予定。長浜バイオ大学をはじめとする各大学、医療・福祉の諸機関から専門家が集結して教授陣を構成し、幅広い知識と教養の講座を準備しています。

主催 **長浜バイオ大学**

後援 **京都高齢者大学開校準備委員会**

お問合せ Tel.0749-64-8100（担当／総務課）